

明星大学、白石範孝教授の示範授業が行われました！

豊中市教育センター主催の市内教職員授業力向上研修の一環として、明星大学の白石範孝教授による示範授業が本校の4年3組において行われました。

当日は100名近くの参加者があり、体育館に机・椅子を運び、ワイヤレスマイクを使って、授業が行われました。

授業前にアイスブレイクを行い、子どもたちの気持ちを和ませ、コミュニケーションの取りやすい雰囲気を作られていました。

当日の研究主題は「説明的文章の読みにおける『論理的思考力』とは、どのような活動で、いかに思考することによって実現できるものであるのかを考えたい」でした。

文章を丸ごととらえて読む～「どちらが生たまごでしょう」～という教材を使用し、題名から「問い」を持たせ、その解決に向かい筆者の主張を読むことを目指しました。

はじめに、各自が本日の教材の全文を音読しました。

みんなが、広い体育館に響き渡るいい声で読めていて、びっくりしました！

次に、題名は、なぜ「生たまご」なのか？「ゆでたまご」でもいいのではないかとという白石教授の問いかけがあり、説明文の「3部構成」を把握しながら、その問いの解決に向けて授業を展開されていきました。

「生たまご」か「ゆでたまご」かという「思考のずれ」を意図的に作ることによって子どもたちの興味・関心を高めた上で問題解決学習が始まり、今、求められている「主体的・対話的で深い学び」を体験させながら明確に解決していく手法はさすがだと思いました。

白石教授の授業展開のすばらしさに多くのことを学ばせていただきましたが、周囲を100人近い先生方に囲まれて、緊張する中、普段通りに様々な多くの意見を堂々と発表した4年3組のみなさんにも大変感動いたしました。

あとで、白石教授から「素晴らしい子どもたちのおかげで、楽しく授業をやらせてもらった。」と、感謝とお褒めのお言葉をいただきました。

他のクラス、学年が下校する中で残ってもらい、本校教員並びに市内教員の授業研究推進のため協力してくれた4年3組のみなさん、どうもありがとうございました！

不審者について

メールでもお知らせいたしましたが、最近不審者情報が増えてきています。

このような不審者の被害にあわれたときは、まず警察の方へ被害届を出していただきますようお願いいたします。

そのあと、学校の方へもご連絡いただきたいと思います。

子どもたちへも被害にあわないように全校集会や学級で指導をまいります。

今一度ご家庭でもご注意を、どうぞよろしくをお願いいたします